

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4290201492		
法人名	社会福祉法人 江寿会		
事業所名	認知症対応型共同生活事業所 サンホーム天神		
所在地	長崎県佐世保し天神1丁目2-13		
自己評価作成日	令和5年2月12日	評価結果市町村受理日	令和5年3月30日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構		
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1		
訪問調査日	令和5年3月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

佐世保市天神町にある見晴らしの良い高台から景色を楽しみながら入居者様には生活して頂いていると思います。また、新規の事業所になるので元気な入居者様も多く、コロナの状況下もあり外出は少ないものの安心して楽しく過ごして頂ける様、職員一丸となって支援させて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

令和2年に開設した2階建てのホームで、市街地に近い高台に位置しており、佐世保の街並みや港を望められる開けた場所にある。ホームのリビングは大きな窓や、木をふんだんに使用し、明るく温かみのある雰囲気、入居者同士が穏やかに過ごしている。地域の児童養護施設の子供達と交流があり、踊りや歌の披露のほか、入居者が子どもからの手紙を受け取り、リビング内に掲示し思いを寄せるなど、入居者が生きる意欲を持ち自分らしく生活できるよう支援している。母体法人は特別養護老人ホーム、ショートステイ、デイサービス、居宅介護支援事業所、グループホームを運営し、各事業所と連携した支援により入居者や家族、地域から信頼を得ていることが窺える。新人職員の育成にも積極的に取り組んでおり、身体拘束や虐待防止など各種研修はWeb上で視聴できるよう環境を整えており、いつでも職員が学べる取り組みは職員のケアの質の向上に期待が持てるホームである。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

ユニット名 Aユニット

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念が「笑顔・共感・団結」となっており、いつでも職員が確認できるように各フロアに設置しています。	基本理念の「笑顔・共感・団結」をホーム内の見やすい位置に掲示し、毎日全職員が出勤時に確認している。介護の実践状況に関し、職員へアンケートを実施し、ユニット会議や法人全体会議で振り返りを行うなど、ケアの質の向上に努めている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナの状況もあり、地域との交流は出来ていませんが隣歩班のご近所様とは回覧板を回す際、意識して交流や地域清掃に積極的に参加しています。また、定期的に町内の児童施設より訪問ボランティアにきて頂いており施設周辺の清掃を通じて交流を行っています。	ホームは地域の児童養護施設と交流し、定期的にホームに子ども達が訪れ、踊りを披露したり、手紙を入居者に渡すなど、入居者が地域と繋がりがながら暮らし続けられるよう取り組んでいる。ホーム職員が地域で開催される認知症サポーター養成講座の講師を務めるなど地域の一員として活動している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域との交流自体を控えておりますが、地域から認知症に関する問い合わせや、協力要請があった際には、積極的に応じるよう考えております。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在、運営推進会議は書面で行っております。意見書を頂いた場合は可能な限り入居者様のケア等に入居者様に反映するよう考えております。	運営推進会議は、地域住民代表（東天神公民館館長）、佐世保市長寿社会課庶務係の職員、家族、知見者（介護付有料老人ホームさくら坂管理者）、ホーム管理者で構成し、現在はコロナ禍の為、書面会議で開催している。構成メンバーへ郵送で運営推進会議資料を送付し、ホームの運営状況を伝え、得られた意見をもとに改善に努めている。次年度は集合して開催する予定である。	構成メンバーへ運営推進会議資料を郵送する際に返信用封筒と回答書を同封するなど工夫し、書面会議であっても可能な限り双方向的な会議となるよう取り組むことを期待する。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	書面ではありますが運営推進会議を通じて、事業所の実情を報告しております。	日頃より、佐世保市役所長寿社会課や社会福祉協議会と連携し、介護保険法改正について問い合わせたり、身寄りのない入居者の成年後見制度の利用に向けた支援など、積極的に現状を伝え、行政関係機関と協働し、協力関係を築いている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を一切行わないが、当事業所の運営方針の一つでもあります。又、身体拘束委員会を設置し、委員を中心とした研修会に参加し取り組んでいます。	ホームでは「身体拘束は一切行わない」と定め、身体拘束適正化委員会を設置し、会議録は職員がいつでも閲覧できるように取り組んでいる。法人として、職員向けに初級(0～3年未満)、中級(3～5年未満)、上級(5年以上～)向けに身体拘束や虐待防止に向けた動画視聴を実施しており、身体拘束を行わないケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人にて委員会を設置しており、各事業所の主任が参加しています。虐待防止の研修についても年1回以上の内部研修が設けられており、防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域の包括センターと連携し後見人制度を利用し支援させて頂いたことがあります。現在、関係する方から相談・要請はありませんが、これらの事業等が必要な方がおられるときには支援を考えております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結ぶ際には、十分な時間を設け、理解していただけるまで説明を行っていると思います。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	全職員が苦情受付担当者になっており、苦情が出た際には、運営に反映させる体制をとっています。	職員毎に入居者への割り当てがあり、担当職員が入居者一人ひとりに対して個別に傾聴し、入居者から意見や要望を受けた場合は、管理者に報告し、管理者が迅速に対処し、ホームの運営に反映している。家族とは面会時や電話、メールなどで意見や要望を受け付けており、運営に反映している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の立場からの意見は聞いてもらえる機会が常時あり必要に応じて迅速に対応して頂いています。代表者を含めた全職員集まる会議も年1回以上設けられています。	職員は日頃より意見や提案を管理者に伝えており、管理者は個人面談を随時行った上で、迅速にホームの運営に反映させている。昨年は全職員に対して運営に関するアンケートを行い、多くの意見や提案を反映させている。ハラスメントへの対応について、マニュアルを整備し、管理者や施設長を相談窓口として対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場内外の勉強会や研修会への参加の自主性や、提出書類等の速やかさを基本給へ反映させています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受ける機会は、その職員に合わせて設けています。又、内部研修においては、共有サイトにいつでも動画視聴することが出来、学び直すことができます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内で研修会を開催し同業者との交流を行っており、サービスの質や職員のスキルの向上に繋がっていると思います。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望時のアセスメントの作成、入居日に入居者様やご家族様との相談の機会を可能な限り時間を設け安心して頂ける様、関係づくりに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居日に入居者様やご家族様との相談の機会を可能な限り設け、要望等に出来る限り応じたケアを提案させて頂き関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と御家族の必要なサービスを当事業所のみと断定せず、相談内容に応じて専門的な立場での助言等をその都度させて頂いていると思います。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の状況・状態に応じて支援をさせて頂いており関係づくりに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在、面会を状況に応じて制限させて頂いておりますが、必要時にはご家族への受診の依頼や、ご家族の要望などに出来る限り応じ対応し関係づくりに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人等より面会・電話の希望があった際は、入居者様やご家族様に確認を行い可能な限り支援させて頂いております。	入居者が家族や知人・友人と、いつでも電話で話したり、面会できるように対応している。また、家族との外出や外泊も率先して支援しており、入居者が大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が継続できるよう努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係は、日々の生活やレクリエーション参加を促し交流が出来るよう努めています。中には、入居者様間で交流が難しい場合は席替えを行ったり職員が間に入る等の支援を行っております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も相談や支援があった際は状況に応じて可能な限り支援を行う様考えております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話の中で、入居者様の希望を伺い、可能な限り対応させて頂いております。入居者様への聞き取りが難しい場合はご家族様に希望を伺いケアプランに繁栄させて頂いております。	職員が日頃より入居者一人ひとりの意向や希望の傾聴に努めている。入居者より「花を買いに行きたい」との希望があり、職員と一緒に花を買いに行き居室に飾るなど、可能な限り支援している。必要に応じてケアマネージャーに相談し、介護計画に反映し、本人本位の支援に活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居希望時のアセスメントの作成、入居日に入居者様やご家族様との相談の機会を設けており、入所後も入居者様・ご家族との会話の中で情報収集に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的な職員間の申し送りや申し送りノートを活用・共有し現状把握に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常生活の中で入居者様やご家族の希望、意見を伺い、介護計画を作成しています。計画作成担当者を中心に、可能な限り意向を踏まえた現状に即した介護計画になっていると思います。	職員は入居者、家族の意向や希望を傾聴し、管理者やケアマネージャーと共にそれぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成し、ケアの質の向上に努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	定期的に見直しをケアプラン会議にて入居者様・御家族・職員の意見を取り入れ見直しにも活かしていると思います。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望があれば、個々のニーズに柔軟な支援を出来る体制を常にとっています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源に関しては把握できていますので、必要なときに本人の支援を出来ると思います。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回協力医により往診に来て頂いており、入居者様の状況・状態に応じて受診を支援させて頂いております。	連携医による訪問診療が2週間に1回、連携歯科医による訪問歯科診療が月1～2回あり、入居者の健康管理を支援している。専門医療機関等への受診には、家族や職員が対応し、適切な医療を受けられるよう取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内に看護師はいませんが、往診時・必要に応じた受診などで入居者様が適切に医療を受けられるよう支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入居者様の入院時には、病院の相談員・看護師の方々と定期的に連絡を行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	自施設では看取りを行っておらず入居時に説明させて頂いております。重度化した入居者様については、状況・状態に応じた他事業所の紹介等の相談を支援させて頂いております。	ホームで看取りは行っておらず、入居時に本人と家族に「重要事項説明書」をもとに説明し、同意を得ている。入居者が重度化した場合は、主治医に相談し、適切な施設を紹介するなど対応している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に備えたマニュアルを作成しており、必要に応じた対応を行う様に職員には周知しています。職員の訓練については、現場にて実践を踏まえながら学び就業しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	自然災害、火災等の対応マニュアルを作成し、防火管理者・非常災害委員会を中心に避難訓練も定期的に行っています。また、緊急時には、公民館長と連絡できるよう連絡網を作成しております。	自然災害を含む防災マニュアルを整備し、昼夜を想定した避難誘導訓練を消防署立ち合いの下に行っている。BCP(業務継続計画)について、動画による職員研修を行い、次年度に向け策定を進めている。	ホームに備蓄を保管し、備蓄品一覧を整備して賞味期限を記載しているが、数量についても記載し管理することが望ましい。一時避難先について、近隣小学校や公民館などがあるため、全職員が認識すると共に家族等にも周知することが望ましい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の個々に応じた人格・背景を考慮し、言葉かけに注意を払いながら支援させて頂いております。	入居者一人ひとりに対して個別に対応し、その方の尊厳や誇りを大切に支援に努めている。排泄の際にはトイレをノックして入室したり、入浴時には脱衣所内が廊下から見えないよう扉を閉めるなど対応を徹底し、入居者のプライバシーを守るよう取り組んでいる。居室でポータブルトイレを使用する方について、日中は居室にポータブルトイレを置かず管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で入居者様が意見・希望を発言しやすい様、各入居者様それぞれに担当職員を設け関係づくりに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の入居者様に応じて日々の状況・状態を把握したうえで、可能な限り支援させて頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣時、入居者様の意向を聞きながら衣服の選択をして頂いており、自己決定が難しい方は、ご家族に入居者様の趣向を考慮した衣類を持って来て頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	事前にアセスメントにて趣向・アレルギー調査を行っており、個々の入居者様に応じた食事の提供を行っております。また、食後は食器洗い・拭きを入居者様と一緒に支援させて頂いております。	食事は外注している。入居者のアレルギーに対して代替食を提供している。1日と15日は赤飯、季節に合わせた行事食、全国各地の名物料理の提供など、食事が楽しめる献立内容となっており、本人の嚥下状態に応じてきざみ食やムース食、トロミ食にも対応している。入居者が職員と一緒に洗い物をするを楽しんだり、家族と外食をすることも支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の入居者様の食事量・水分量を記録させて頂いております。趣向などもありますが、状況に応じて趣向にあった補食等の提供を支援させて頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアについては、毎食後声掛け・支援させて頂いております。また、義歯の方は毎日義歯洗浄剤を行っており、清潔に努めています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツの使用やスキントラブルを減らす為、入居者様1人1人に合ったりハビリパンツや尿取りパットで対応しています。	毎日、職員が入居者一人ひとりのライフチャートを記録し、排泄パターンを把握した上で、個々に応じて排泄への声掛けや誘導を行い、トイレでの排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響は理解した上で、入居者様に応じた水分量の提供・協力医に必要に応じた処方にて排便コントロールに努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	出来る限り入浴については対応させて頂いておりますが、時間については職員の配置状況により時間帯を決め入浴を支援しております。	週2回は入浴ができるよう入居者個々の希望やタイミングに配慮して支援している。また、入居者の体調や気分に応じて入浴予定日以外でも入浴ができるよう支援している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様にそれぞれの生活習慣に合わせ入眠を促しています。夜間は定期的に訪室し呼吸確認を行い、安心して休んで頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服内容について、全職員が確認できる様ファイルを作成しており、往診・受診時内服の変更があった場合は、申し送りノートにて各職員が確認・対応できるよう周知しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外部との交流は現常難しい状況ではありますが、趣向に応じたおやつ提供やドライブ外出等を行う等の支援を行なっています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	状況によりませんが、出来る限り入居者様やご家族様の希望等の対応支援を行っております。	定期的に季節の行事にて外出を行っており、1月は初詣、3・4月は花見などに出かけ、入居者に季節を感じてもらえるよう支援している。入居者にとって住み慣れた地域をドライブしたり、家族との外出や外泊も支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者間のお金のトラブル防止の為、基本的に所持はされておられませんが、少額の小口を金庫にて預かっており希望時に使用できる様支援を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話や手紙でのやり取りに制限は設けていませんが、知人については入居者様・ご家族様確認の上、支援させて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間については、不必要な物を置かないよう配慮しております。また、季節感を感じて頂く為に、季節を感じて頂けるような掲示物・関連ある物を配置して四季を感じる事が出来るよう支援させて頂いております。	職員が担当月を決めて、季節感のある壁画や貼り絵を入居者と一緒に制作し、ホールの壁に掲示して、季節を感じて過ごせるよう支援している。共有空間は定期的な換気と空調機による温度設定にて室内温度を一定に保ち、また、食後には清掃を行い清潔保持に努めており、入居者が居心地よく過ごせるよう取り組んでいる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間でも、一人一人の場所が確保されています。思い思いに過ごして頂ける様支援させて頂いております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にて自宅で使用された思い入れのある家財道具を持って来て頂いており、居室に過ごす際は親しみを感じながら心地よく過ごせるよう支援させて頂いております。	入居者が入居前から使用している使い慣れたタンスや、大切な人の位牌、仏壇など、自室に持ち込まれており、本人が安心して暮らせるよう支援している。入居者個々の動線に合わせた家具の配置を考慮し、入居者が安全かつ居心地よく過ごせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有のトイレについては、トイレと分かる様張り紙をしており、入居者様の自立度に応じて支援させて頂いております。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4290201492		
法人名	社会福祉法人 江寿会		
事業所名	認知症対応型共同生活事業所 サンホーム天神		
所在地	長崎県佐世保市天神1丁目2-13		
自己評価作成日	令和5年2月12日	評価結果市町村受理日	令和 年 月 日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1
訪問調査日	令和5年3月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

佐世保市天神町にある見晴らしの良い高台から景色を楽しみながら入居者様には生活して頂いていると思います。また、新規の事業所になるので元気な入居者様も多く、コロナの状況下もあり外出は少ないものの安心して楽しく過ごして頂ける様、職員一丸となって支援させて頂いております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

ユニット名 Bユニット

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	基本理念が「笑顔・共感・団結」となっており、いつでも職員が確認できるように各フロアに設置しています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナの状況もあり、地域との交流は出来ていませんが隣歩班のご近所様とは回覧板を回す際、意識して交流や地域清掃に積極的に参加しています。また、定期的に町内の児童施設より訪問ボランティアにきて頂いており施設周辺の清掃を通じて交流を行っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域との交流自体を控えておりますが、地域から認知症に関する問い合わせや、協力要請があった際には、積極的に応じるよう考えております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在、運営推進会議は書面で行っております。意見書を頂いた場合は可能な限り入居者様のケア等に入居者様に反映するよう考えております。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	書面ではありますが運営推進会議を通じて、事業所の実情を報告しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束を一切行わないが、当事業所の運営方針の一つでもあります。又、身体拘束委員会を設置し、委員を中心とした研修会に参加取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人にて委員会を設置しており、各事業所の主任が参加しています。虐待防止の研修についても年1回以上の内部研修が設けられており、防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	地域の包括センターと連携し後見人制度を利用し支援させて頂いたことがあります。現在、関係する方から相談・要請はありませんが、これらの事業等が必要な方がおられるときには支援を考えております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結ぶ際には、十分な時間を設け、理解していただけるまで説明を行っていると思います。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	全職員が苦情受付担当者になっており、苦情が出た際には、運営に反映させる体制をとっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の立場からの意見は聞いてもらえる機会が常時あり必要に応じて迅速に対応して頂いています。代表者を含めた全職員集まる会議も年1回以上設けられています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場内外の勉強会や研修会への参加の自主性や、提出書類等の速やかさを基本給へ反映させています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受ける機会は、その職員に合わせて設けています。又、内部研修においては、共有サイトにいつでも動画視聴することが出来、学び直すことができます。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内で研修会を開催し同業者との交流を行っており、サービスの質や職員のスキルの向上に繋がっていると思います。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居希望時のアセスメントの作成、入居日に入居者様やご家族様との相談の機会を可能な限り時間を設け安心して頂ける様、関係づくりに努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居日に入居者様やご家族様との相談の機会を可能な限り設け、要望等に出来る限り応じたケアを提案させて頂き関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人と御家族の必要なサービスを当事業所のみと断定せず、相談内容に応じて専門的な立場での助言等をその都度させて頂いていると思います。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の状況・状態に応じて支援をさせて頂いており関係づくりに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在、面会を状況に応じて制限させて頂いておりますが、必要時にはご家族への受診の依頼や、ご家族の要望などに出来る限り応じ対応し関係づくりに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人等より面会・電話の希望があった際は、入居者様やご家族様に確認を行い可能な限り支援させて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の関係は、日々の生活やレクリエーション参加を促し交流が出来るよう努めています。中には、入居者様間で交流が難しい場合は席替えを行ったり職員が間に入る等の支援を行っております。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後も相談や支援があった際は状況に応じて可能な限り支援を行う様考えております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話の中で、入居者様の希望を伺い、可能な限り対応させて頂いております。入居者様への聞き取りが難しい場合はご家族様に希望を伺いケアプランに繁栄させて頂いております。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居希望時のアセスメントの作成、入居日に入居者様やご家族様との相談の機会を設けており、入所後も入居者様・ご家族との会話の中で情報収集に努めております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的な職員間の申し送りや申し送りノートを活用・共有し現状把握に努めています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日常生活の中で入居者様やご家族の希望、意見を伺い、介護計画を作成しています。計画作成担当者を中心に、可能な限り意向を踏まえた現状に即した介護計画になっていると思います。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	定期的に見直しをケアプラン会議にて入居者様・御家族・職員の意見を取り入れ見直しにも活かしていると思います。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	要望があれば、個々のニーズに柔軟な支援を出来る体制を常にとっています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域資源に関しては把握できていますので、必要なときに本人の支援を出来ると思います。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	2週間に1回協力医により往診に来て頂いており、入居者様の状況・状態に応じて受診を支援させて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	職場内に看護師はいませんが、往診時・必要に応じた受診などで入居者様が適切に医療を受けられるよう支援しております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入居者様の入院時には、病院の相談員・看護師の方々と定期的に連絡を行っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	自施設では看取りを行っておらず入居時に説明させて頂いております。重度化した入居者様については、状況・状態に応じた他事業所の紹介等の相談を支援させて頂いております。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時に備えたマニュアルを作成しており、必要に応じた対応を行う様に職員には周知しています。職員の訓練については、現場にて実践を踏まえながら学び就業しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている	自然災害、火災等の対応マニュアルを作成し、防火管理者・非常災害委員を中心に避難訓練も定期的に行っています。また、緊急時には、公民館長と連絡できるよう連絡網を作成しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の個々に応じた人格・背景を考慮し、言葉かけに注意を払いながら支援させて頂いております。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で入居者様が意見・希望を発言しやすい様、各入居者様それぞれに担当職員を設け関係づくりに努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の入居者様に応じて日々の状況・状態を把握したうえで、可能な限り支援させて頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	更衣時、入居者様の意向を聞きながら衣服の選択をして頂いており、自己決定が難しい方は、ご家族に入居者様の趣向を考慮した衣類を持って来て頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	事前にアセスメントにて趣向・アレルギー調査を行っており、個々の入居者様に応じた食事の提供を行っております。また、食後は食器洗い・拭きを入居者様と一緒に支援させて頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の入居者様の食事量・水分量を記録させて頂いております。趣向などもありますが、状況に応じて趣向にあった補食等の提供を支援させて頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔ケアについては、毎食後声掛け・支援させて頂いております。また、義歯の方は毎日義歯洗浄剤を行っており、清潔に努めています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	オムツの使用やスキントラブルを減らす為、入居者様1人1人に合ったりハビリパンツや尿取りパットで対応しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や及ぼす影響は理解した上で、入居者様に合わせた水分量の提供・協力医に必要に応じた処方にて排便コントロールに努めています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	出来る限り入浴については対応させて頂いておりますが、時間については職員の配置状況により時間帯を決め入浴を支援しております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	入居者様にそれぞれの生活習慣に合わせ入眠を促しています。夜間は定期的に訪室し呼吸確認を行い、安心して休んで頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服内容について、全職員が確認できる様ファイルを作成しており、往診・受診時内服の変更があった場合は、申し送りノートにて各職員が確認・対応できるよう周知しております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	外部との交流は現常難しい状況ではありますが、趣向に応じたおやつ提供やドライブ外出等を行う等の支援を行なっています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	状況によりませんが、出来る限り入居者様やご家族様の希望等の対応支援を行っております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者間のお金のトラブル防止の為、基本的に所持はされておられませんが、少額の小口を金庫にて預かっており希望時に使用できる様支援を行っております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族からの電話や手紙でのやり取りに制限は設けていませんが、知人については入居者様・ご家族様確認の上、支援させて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間については、不必要な物を置かないよう配慮しております。また、季節感を感じて頂く為に、季節を感じて頂けるような掲示物・関連ある物を配置して四季を感じる事が出来るよう支援させて頂いております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間でも、一人一人の場所が確保されています。思い思いに過ごして頂ける様支援させて頂いております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にて自宅で使用された思い入れのある家財道具を持って来て頂いており、居室に過ごす際は親しみを感じながら心地よく過ごせるよう支援させて頂いております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	共有のトイレについては、トイレと分かる様張り紙をしており、入居者様の自立度に応じて支援させて頂いております。		